

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大涌谷観光センター	階数	地上2F
建設地	福根町仙石原字台ヶ塚1251-2の一部、1251-6の一部、1251-7の一部	構造	RC造
用途地域	用途地域:防火指定なし	平均居住人員	483,000 人
気候区分		年間使用時間	3,100 時間/年
建物用途	物販店, 飲食店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	平成26年3月 予定	評価の実施日	2013年7月22日
敷地面積	7,957 m <sup>2</sup>	作成者	石井建築事務所
建築面積	1,611 m <sup>2</sup>	確認日	2013年7月22日
延床面積	2,865 m <sup>2</sup>	確認者	石井建築事務所



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 参照値: 100%  
 建築物の取組み: 76%  
 上記+: 76%  
 上記+: 76%

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

##### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
「大涌谷に、集う」 にぎわいの、ちょっとおしゃれな相乗空間 1) 客動線を建物へと誘う、軒下空間...立ち寄り易さを促し、お客様が自然と集まる空間の創出 「憩いの場」としての軒下空間 2) 同一フロアの回遊性	0	
<b>Q1 室内環境</b> 開口部の遮音性能は、T-2である。 トップライトを設置している。 空気取り入れ口と排気口は、3m以上離れて設置されている。 F を全面的に採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> リストスペースを売り場面積の12%設けている。内壁・床面は防汚性の高い建材、水使用可能である。外部金属部は7M・SUSを使用している。 受水槽は、2基の水槽を設置している。配管材は、給水管 SGP・VP・SGP・VD、汚水・排水管 DVLP・VP、給湯管 HVAである。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 防犯カメラの設置し、防犯性に配慮している。 火山学習センターを設置している。 広場のスペースを確保している。
<b>LR1 エネルギー</b> PAL低減率23.0% トップライトと太陽光パネルを利用している。 ヒートポンプ技術を用いた高効率の空調設備を導入している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 自動水栓を用いている。 O Aフロア・G L工法を使用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> : 76%である。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q: Quality** (建築物の環境品質)、**L: Load** (建築物の環境負荷)、**LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性)、**BEE Building Environmental Efficiency** (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される